

2020年10月14日

## ニューノーマルに対応した「RICOH コンテンツ活用&業務効率化サービス」を提供開始 ～クラウド型 CSP「DocuWare」を軸に、企業のドキュメント管理やワークフローを効率化～

リコージャパン株式会社(社長執行役員:坂主智弘)は、ニューノーマル(新常態)環境下での業務効率化や生産性向上を実現するソリューション商品群である「RICOH Digital Processing Service」の新サービスとして、国内中堅企業向けにドキュメント管理やワークフローを効率化する「RICOH コンテンツ活用&業務効率化サービス」の提供を開始します。2020年10月19日から首都圏エリアで展開し、2021年1月以降に全国に拡大します。

昨今、ニューノーマルに対応した働き方の見直しを行う企業が増え、オフィスやホーム、現場といったはたらく場所を問わず、自動化・省力化により業務の生産性を向上させることが課題になっています。しかし、企業内外との情報伝達、共有においては、デジタル化の遅れにより、中堅中小企業を中心に、現在も紙文書でのやりとりが多く発生しており、業務プロセス効率化の障壁となっています。

「コンテンツ活用&業務効率化サービス」は、リコーのグループ会社である独ドキュウェア社(DocuWare GmbH)が開発するクラウド型の CSP(Content Service Platform)である「DocuWare」をコアに、お客様の課題を解決するためのソリューションです。

「DocuWare」は、OCRによる紙文書のデジタル化からコンテンツ管理に加え、ワークフロー自動化、外部システムとの連携を実現します。複合機によるスキャンデータや受信FAX、メール文書、添付ファイル、WEBフォームなど、様々な形式の情報に対して自動的に全文OCR処理を実施し、AI(人工知能)により、ドキュメントの種類やコンテンツ内容および配置を学習します。インデックス情報を自動抽出することで、すばやい検索や業務システム連携用データとして活用できます。各種情報のデジタル化・インデックス化によるコンテンツ管理に加え、CSV/APIを活用してインデックス情報を外部システムとシームレスに連携できます。

また、申請書や請求書など、社内の承認が必要なワークフローも、予め定義された承認フローに従い、自動化することができます。洗練されたユーザーインターフェース(UI)により、画面上で文書のデジタル化から承認ワークフローまでを直感的に操作でき、出張時やリモートワークでも、パソコンやスマートフォン、タブレット端末などのデバイスから各種の作業を実行できます。

「RICOH コンテンツ活用&業務効率化サービス」では、DocuWare をコア・アプリケーションとし、業種業務ごとのお客様の環境に合わせ、固有のプロセスに対応したモデルを提供します。帳票処理自動化、注文書ファクス処理の効率化、契約書管理効率化、ワークフロー文書管理など4つの業務モデル、また、業種向けモデルとして製造現場かんたん文書管理モデルをご用意し、順次モデルバリエーションを拡大します。

クラウドアプリケーションサービスとして提供し、必要に応じた拡張性を担保しながら、小規模での導入から始めることができます。リコージャパンの強みである豊富な SE(システムエンジニア)戦力を活用し、お客様の様々な業務に応じた柔軟な設定やインテグレーションを行うことで、既存の業務に沿った形での業務デジタル化・効率化を実現します。そのため、中堅企業における働き方改革・生産性向上はもちろん、大企業に対しても、部門固有の業務効率化・困りごと解決に貢献します。

リコージャパンは、本サービスをお客様の業務を変革するキー・ソリューションとして展開し、中堅企業におけるクラウド技術を活用した業務改善を促進します。リコーグループは、今後もデジタルの力でさまざまな業務に関わる情報共有や業務プロセスの効率化を支援するソリューションを提供し、お客様の働き方改革に貢献してまいります。



「RICOH コンテンツ活用&業務効率化サービス」の概要図

### ※RICOH Digital Processing Service とは

業種業務ごとの固有の業務フローをデジタル化し、エッジデバイス、自動化サービスなどを組み合わせて、ニューノーマル(新常态)に対応した新しい働き方を支援するソリューション商品群です。オフィスやホーム、現場といった「はたらく場所」を問わず、自動化・省力化により、仕事場に「密」環境を作らず業務の生産性向上を支援します。

### ※DocuWare とは

DocuWare は、2019年夏に M&A によりリコーのグループ会社となった独ドキュウェア社 (DocuWare GmbH) が開発するアプリケーションです。OCR による紙文書のデジタル化からコンテンツ管理に加え、ワークフロー自動化、外部システムとの連携を実現します。DocuWare はこれまでに世界 90 カ国以上 14,000 社以上の中堅・中小企業を中心としたお客様に導入されています。今回、ドキュウェア社のソフトウェア開発力に、リコーが蓄積する日本語文書処理に関する知見を加え、DocuWare 日本語版を開発しました。

## ※CSP(Contents Service Platform)とは

CSP は、コンテンツの保管・検索・管理を実現するソリューション・サービスに加え、基幹システムや外部アプリケーションと連動して、より広範囲な業務効率化を実現する統合プラットフォームです。文書管理だけでなく動画や画像、音声など多様なファイル・コンテンツを管理することができ、API や SDK の提供により外部システムと連携することで、企業におけるさまざまな業務に合わせてカスタマイズすることで業務プロセスの最適化を実現します。

### <「DocuWare」の主な機能>

#### 1. 多彩な入力機能をサポートしたクラウド型デジタルコンテンツ管理

複合機および任意のスキャナー機器からのスキャニングをはじめ、FAX受信文書やOutlook®などのメール文書からの取り込みなど多彩な入力機能をサポートします。デジタル化されたコンテンツデータはクラウド上で一元管理され、ワークスペースに依存しない情報共有を支援します。

#### 2. インデックス情報抽出を自動化するIntelligent Indexing機能(学習機能付きOCR/自動取り込みインデックス)

DocuWare に登録した紙文書は自動的に全文 OCR 処理されます。さらに AI テクノロジーにより、ドキュメントの種類やコンテンツ内容および配置を学習し、インデックス情報を自動抽出することで、すばやい検索や業務システム連携用データとして活用できます。

#### 3. ワークフロー自動化

申請書や請求書など上司並びに社内関連部署の承認が必要な業務処理も、予め定義された審査承認フローに従い、ワークフローを回すことが出来ます。承認または差戻し処理時に任意のスタンプを押したり、コメントを入力するアノテーション機能も備えています。

#### 4. 基幹システムや業種業務ごとのサービスやソフトウェアと連携

紙の請求書などの帳票をデジタル化及びデータ化することで、CSV/APIなどを活用して会計システムなど外部の業務システムやデータベースとシームレスに連携することができます。業務システムへ手作業で入力していた業務を削減し、大幅な業務効率アップに貢献します。

### <RICOH コンテンツ活用&業務効率化サービスの業種業務向けラインアップ>

#### ●帳票処理自動化モデル

顧客からの紙の請求書をスキャニングすることでデジタル化及びデータ変換を自動化。事前に定義された承認ワークフローを回すことで、会計システムへデータ連携する業務フローの効率化を実現します。請求データの手入力による膨大な作業や入力ミスをなくします。

### ●注文書ファクス処理の効率化モデル

顧客からメールやFAXで来る発注書をデジタル化及びデータ変換を自動化。承認ワークフローを回して、販売管理システムへデータ連携する業務フロー改善の効率化を実現します。受注処理を効率化することで、出荷作業までのタイムラグをなくします。

### ●契約書管理効率化モデル

取引先と取り交わした契約書をデジタル化し、必要なインデックス情報の入力を自動化することで、必要な時にすばやく検索する仕組みを提供します。同時に契約期間満了が間近の案件に関しては担当者に通知を行い、契約更新漏れのリスクを回避します。

### ●ワークフロー文書管理モデル

今まで紙と印鑑で回していた経費精算などの各種申請や起案業務をデジタル化し、業務の効率化を実現します。特別な帳票を作成する必要もなく、現在、紙と印鑑で回している申請書をそのままデジタル化し、DocuWare上で画像に直接印鑑を押したり、コメントを入力しながら、承認のワークフローを回すことができます。

### ●製造現場かんたん文書管理モデル

設計や技術部門で作成した製品規格書や品質管理などの技術資料と外部からの図面など紙ドキュメントの最新版を一元管理。今まで社内関連部門や取引先に通達するために印刷/配布していた業務を電子化し、承認ワークフローを回すことで、常に最新版の資料をペーパーレスで配布できます。

※Outlook®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他会社名と商品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

---

## | リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2020年3月期リコーグループ連結売上は2兆85億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>